

令和7年度 第1回 学校運営協議会 議事録

時間：令和7年5月15日(木) 15:45～17:00

場所：神奈川県立相模原城山高校 会議室

【出席者】（以下敬称略）

学校運営協議会委員

- ・大石 進 横浜リゾート＆スポーツ専門学校長
- ・山田 裕康 相模原市立中沢中学校校長
- ・高野 朝枝 相模原市立城山公民館館長
- ・石坂 智 企業庁相模川水系ダム管理事務所所長
- ・岩村 卓也 神奈川県立相模原城山高等学校 PTA 会長
- ・樋口 一孝 神奈川県立相模原城山高等学校校長

本校職員

- ・瀧川 美樹 神奈川県立相模原城山高等学校 副校長
- ・近藤 久美子 同 事務長
- ・後藤 南津恵 同 総括教諭(教務グループ・広報グループ グループリーダー)
- ・瀬古 千鶴 同 総括教諭(進路グループ グループリーダー)
- ・近藤 尚 同 総括教諭(生活グループ グループリーダー)
- ・茂木 拓郎 同 総括教諭(生徒会グループ グループリーダー)
- ・轡田 寛 同 総括教諭(総務グループ グループリーダー)
- ・尾身 博之 同 教諭(総務グループ 記録担当)

【欠席者】

- ・小玉 敏也 麻布大学教授
- ・鈴木 満博 相模原市立広陵小学校校長
- ・安西 勝正 城山自治会会長
- ・伊藤 康宏 学校法人岩崎学園マーケティング・教育事業創造本部本部長
- ・小野 貴史 神奈川県立相模原城山高等学校 教頭

【議 事】

1. 開会のことば(瀧川)

2. 校長あいさつ(樋口)

- ・「神奈川県立城山高等学校ランドデザイン」がわかりやすいようにと、資料 P2 のように図示したので見てほしい。この図にも記載したように、本校は情操豊かな純朴素直な生徒が多く、教員は生徒に丁寧に接している。豊かな自然の中でのびのびとした教育を行ってきたい。

- ・昨年度に引き続きDXハイスクール指定校となり、昨年度 1 0 0 0 万円、今年度 5 0 0 万円の予算が付いた。今年度は県立高校では 2 2 校が指定されている。
- ・プログラミング教育研究推進校として、プログラミング教育活動を、授業での実践に特化することなく、学校活動全体で取り組んでいきたい。

### 3. 出席者紹介

- ・自己紹介を行った。

### 4. 本会の運用(瀧川)

- ・部会組織について

本校の学校運営協議会は、学校評価部会と地域連携部会の 2 本柱になっているが、両部会に共通する内容も多いことから、今年度からは学校運営協議会委員は全員、両方の部会に所属することを提案したい。了承された。

### 5. 会長選出(瀧川)

- ・互選により会長に大石委員を、副会長に樋口委員を選出した。

〈以下、司会を大石が担当〉

### 6. グランドデザイン・スクール・ポリシー(樋口)

- ・スクールミッション 資料の通り。

- ・学校教育目標 資料にある後半の文言にあるように「社会の有為な形成者として必要な資質を持つ人物の育成」を目指している。

- ・グラデュエーション・ポリシー 生徒には自信をつけて卒業して行ってほしい。  
情報活用能力を育みたい。  
プログラミング的思考を育んでいく。  
協働する力を身につけさせる。

- ・カリキュラム・ポリシー カリキュラムの見直しを重視していきたい。  
地域と密着した活動を活発化したい。

- ・アドミッション・ポリシー 学校行事などに積極的に参加する生徒の入学を希望する。

### 7. 学校教育計画(樋口) 資料 P4～5 をもとに説明を行った。

### 8. 令和 6 年度学校評価(樋口) 県ではひとり一台端末を導入しているので、活用を推進していきたい。

授業のねらいや活動を明示するため、授業の進行を表すマグネットプレートを黒板にはるなどの工夫をしている。

9. 令和7年度学校目標(樋口) 資料P8～9参照

・教育課程 学習指導 管理職による授業観察などでDXハイスクールの実践状況を把握している。

ロイロノートや電子黒板の活用を図っていく。

選択科目を含め、カリキュラムについて検討していきたい。

プログラミング的思考力を身につけさせる授業を意識して実践していただきたい。

〈質問〉(山田) ロイロノートとは何か。

〈回答〉(瀧川) 本校で導入している、授業の資料のやりとりや、生徒の意見の共有・可視化などを行う授業支援のソフトウェアである。

・生徒指導・支援(樋口) 交通安全指導に力を入れたい。

サポートドッグを活用して、早朝に生徒の状況を把握し、対応していきたい。

部活動加入率を上げたい。

〈質問〉(大石) 現在の部活動部員数の状況はどのようなか。

〈回答〉(茂木) 名簿上の加入率は約5割である。実際に活動している生徒はそれよりかなり少ない。

〈質問〉(大石) 交通安全指導の状況はどのようなか。

〈回答〉(岩村) 先日、谷ヶ原浄水場前での指導に加わったが、これまでの4年間で今年は最も交通マナーが良かった。イヤホンを両耳に装着している生徒は一人もいなかった。今後も継続して進めていくと良いだろう。

〈質問〉(大石) スケアードストレイトは実施するか。

〈回答〉(近藤) 秋に実施する予定である。

〈意見〉(大石) インパクトがあり、交通安全意識の喚起に大きな効果があると思う。是非実施してほしい。

〈質問〉(山田) 中学校では教員の部活動の仕事の、負担軽減を考えているが本校ではどうか。

〈回答〉(茂木) サッカーなどでは地域にクラブチームがある。アンダー15のチームはあるが、アンダー18のチームは少ない。加入している人数も少ない。スポーツをしたければ、学校の部活でやるのが良いであろう。

・進路指導・支援(樋口) 大学・専門学校・就職と、本校を卒業する生徒の進路は多岐にわたっている。学校から積極的に情報を提供していく。また、実際にオープンスクールやインターシップなどで体験してみるということを重視したい。

・地域等との協働(樋口) 本校は地域に密着した学校である。ふれあい花壇の植栽などを実践している。

〈意見〉(高野) 町づくり会議を行っている。

昨年度、地域の子供たちを集めてモルック大会などを行った。これに大学生が参加しているが、本校の高校生も参加してくれるとありがたい。

防災訓練では、高校生の若い力が欲しい。

ひまわりクラブの活動を通して、生徒は地域住民に認められ褒められたという達成感・自己肯定感を得られる。是非参加してほしい。

しろやま寺子屋を立ち上げた。毎週土曜日開催。高校生が 1 名来館して、小学生の勉強をみてくれた。たいへん良い交流になった。

・学校管理 学校運営(樋口)

〈質問〉(大石) 勤務時間の管理システムとは何か。

〈回答〉(樋口) PC の稼働状況から勤務時間を調べるシステムである。働き方改革としては、教員以外の職員ができる仕事を見出し、分担していくことも考えていくべきだと思っている。

10. 本年度の各グループの取組について

・教務グループ(後藤) ひまわりクラブは授業として行っている。おひさまクラブという部活動には 7 名が在籍し活動している。

5 月中旬～6 月 互見週間を行い、授業改善につなげたい。

5 月 26 日に科目選択説明会がある。

5 月 27 日から中間テストがある。

・進路グループ(瀬古) 保護者対象の進路説明会を実施する。予定をはるかに超える希望者があった。ありがたい。

・生活グループ(近藤) 交通安全指導に力を入れていきたい。

今年度から、津久井警察署・まちづくりセンター・本校の 3 者共同で、山王神社前交差点において月 4 回の交通安全指導をすることとなった。これを強化していきたい。

〈意見〉(岩村) 交通安全指導を実施する日を教えてくれたら、PTA としても協力したい。

通学の様子について PTA 会長宅へ苦情電話があった。

・生活グループ(茂木) 生徒へのアンケート結果から、体育祭を緑翔スポーツデイ、文化祭を緑翔祭と名付けることになった。

部活動に活気が欲しい。部活動加入率 50%を目指したい。

部活動顧問研修会を行い、3 日間かけて教員の指導能力向上を図る。

部活動推進キャンペーンをはり、PR していく。

体育館工事は今年度中に終了する。来年度はグラウンド整備が行われる。

- ・広報グループ(後藤) 学校案内冊子を工夫した。紙面に QR コードを印刷し、すぐにホームページ上で詳細見られるようにした。なお、この工夫により、ページ数が減り、そのために発行部数を増やすことができた。  
学校紹介を、全公立展や公私合同説明会および中学校への訪問で行っていく。

- ・総務グループ(轡田) 年間行事予定を配布する。

## 11. 質疑応答・提言

〈質問〉(大石) 今年度の卒業式もパルテノン多摩で行うのか。学校の体育館で行いたい。(岩村・大石同意見)

〈回答〉(近藤) 体育館の工事は令和 7 年 12 月に終了し、引き渡され、8 年 1 月に引っ越しが予定されている。よって、本校の新体育館で卒業式は実施できる。

〈質問〉(岩村) 自治会の防災訓練(頼りになるのは中高生だと考えている)等、継続的に地域とかかわる活動を考えてみてはどうか。本校らしさのひとつとなる。

〈回答〉(轡田) 生徒会と協議して検討していきたい。

〈意見〉(高野) 学校からの文書に、片仮名語が大変に多くて、わかりにくい。。重要なものには注釈をつけてほしい。

〈意見〉(石坂) 神奈川県でもインターンシップの受け入れがある。昨年もダムの仕事高校生 2 人が体験した。良い経験だったようである。

〈質問〉(大石) 最近他県で発生した、部活動中のグラウンドでの落雷事故や不審者侵入について、思うところはあるか。

〈回答〉(瀬古) 不審者等の侵入については、緊急時の放送のフローチャートを作成した。

〈回答〉(茂木) 部活動中、雷光や雷鳴に気づいたら、活動を中止するようにしている。今後、対応を模索していく。

## 12. 閉会のことば(瀧川)

(以 上)